

Ⅱ－３ 高等部の実践

Ⅱ－３ 高等部の実践

１. はじめに

（１）高等部で目指す姿

高等部では「卒業後に自分が希望する生活の実現を目指して自分の課題に取り組む姿勢の育成」を目指し、生徒が毎日を充実して過ごせるように、また主体的に自分の生き方や生活を考えたり選んだりすることができることをキャリア発達の姿と捉え、学習活動を行っている。

（２）今年度の取組について

昨年度までの３年間の研究では、本校高等部の目指す姿に迫るために、作業学習を通して研究に取り組んできた。対話を通し“働くこと”について、生徒自身が気づき、考え、意味づけ、理由（価値）づけすることを繰り返す中で、生徒が自分の知識や認識をより現実 に即して新たにしていける姿を見ることができた。

今年度は、授業のテーマを「自分らしい“オフ”の過ごし方」とし、総合的な学習の時間を通して取り組むこととした。まず、本テーマ設定の理由について述べる。本テーマについて取り上げたきっかけは、ある生徒のつぶやきだった。「本当は行きたくなかったのに、（友だちの誘いを）断れなかった。」というその生徒は、休日あけのある日を浮かない表情で過ごしていた。生徒の実態と、そこから感じた、生徒たちは休日を主体的に過ごしているのだろうかという教師の疑問、休日についても主体的に過ごしてほしいという教師の願いから授業づくりが始まった。加えて生徒の社会的・職業的自立を指向した時、“余暇を楽しむこと”は生徒の今の生活にとっても、卒業後の生活にとっても、欠かすことのできない大切な要素の一つである。“働くこと”と同様に“余暇を楽しむこと”についても生徒自身が気づき、考え、意味づけ、理由（価値）づけしていくことを通して、さらに本校高等部の生徒の目指す姿に迫ることができるのではないかと考えた。

次に、生徒の学びのプロセスを大切にしたい授業づくりについて述べる。教師たちはこれまでの研究を通して、生徒自身が気づき、考え、意味づけ、理由（価値）づけすることを大切にしながら授業づくりに取り組んできた。その中で大きな役割を果たしてきたものの一つに、対話がある。これまでの取り組みでは、生徒が様々な相手（教師、友だち、先輩、後輩、外部講師など）と対話することや、対話の中で生徒自身が「なぜ」「何のため」⁽¹⁾と繰り返し考えることを大切にしてきた。このような対話を通して様々な考えに触れたり、自分と向き合ったり、物事の本質を捉えたりすることで、生徒自身が気づき、考え、意味づけ、理由（価値）づけしようとする姿を見ることができた。そこで今年度も様々な他者との対話や、対話の中で生徒自身が「なぜ」「何のため」と繰り返し考えることを大切にしながら、授業づくりに取り組んでいきたい。また、これまでの取り組みでは主に１対１での対話を重ねることが多かったが、今年度は総合的な学習の時間という枠組みの中で、複数人による対話の有効性についても検討していきたい。

参考文献

（１）菊地一文（2016）「児童生徒のキャリア発達を促すための授業づくり」

金沢大学附属特別支援学校 平成28年度文部科学省キャリア教育・就労支援の充実事業 研究フォーラム講演内容

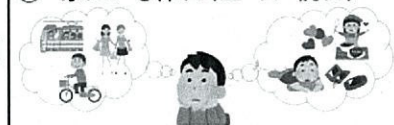
(2) 単元における生徒の学びについて

①生徒の学びの流れ

	学びのプロセス(実施時数)
7 月	ア. 自分の休日の過ごし方を知り、気づく(4)
9 月	・スケジュール帳に 1 週間の自分の過ごし方を記入し、振り返る
10 月	イ. 他の人の休日の過ごし方を知る(4)
	・ 1 週間の自分の過ごし方を発表したり、友だちの発表を聞いたりする
	・ 卒業生や教師の 1 週間の過ごし方を知る
	ウ. 自分が休日の過ごし方についてどう感じているかを知り、気づく(5)
	○どちらが楽しい？
	・「学校のある日」と「1 日休みの日」
	・「出かける休日」と「家にいる休日」
	・「一人で過ごす休日」と「誰かと過ごす休日」
	○自分の 1 週間は☆いくつ？
総時数 13	・ ☆ 5 個での自己評価
11 月	エ. 過ごしてみたい休日について考える(2)
12 月	○☆ 5 個になる過ごし方はどんな過ごし方？
	○☆10 個になる過ごし方はどんな過ごし方？
	オ. 実現する方法を考える(2)
	○☆10 個になる過ごし方はできる？できない？
	カ. 自分の休日の過ごし方を知り、気づく(2)
総時数 6	○単元の振り返り

① 出かける休日(土・日・祝日)

② 家にいる休日(土・日・祝日)



②授業の中で繰り返し確認したこと

ア. 互いの考え方や表現方法が異なることを知り、受けとめること

イ. 正解や不正解という考え方ではなく、自分の考えとその理由を持つこと

(3) 内面の読み取りについて(生徒の内面を知り、働きかけるために)

①活用したツール

ア. スケジュール帳【生徒】

1 週間の予定や過ごし方、感じたことなどを記入したり、☆5 での自己評価とその理由を記入したりする。(毎週月曜日に提出)

イ. ワークシート【生徒】

各授業のテーマについて、自分の考えやその理由を記入する。

ウ. 授業づくりシート【教師】

授業の様子を記録し、それをもとに生徒の言動や様子について共有する。

② 設定した場面

ア. 2 択での発問

休日の過ごし方という自由度の高いテーマについて、生徒自身が自分の生活を振り返りながら考

えることができるよう、本單元では、「家にいる休日と出かける休日、どちらが楽しい？」など、まずはどの生徒も意見を示すことができるよう2択による発問をした。また、一人一人の大切な考えがあり、理由があることに気づくことを期待して、中間の意見も受容することとした。

イ. ディスカッション

授業では、ワークシートにまとめた自分の考えをもとに、自分の考えを他者に伝えたり、他者の考えを知ったりするディスカッションを行った。先述した2択による発問をすることで、自分とは異なる考えを持つ他者が明確になり、互いに意見を伝えやすくなることも期待した。

ウ. 授業外での対話

主に日常生活での会話を中心に行った。生徒の実態についてより深く知るために、授業外においてもスケジュール帳を通してやりとりをしたり、休日の過ごし方について会話をしたりした。また、授業内で伝え切れなかった生徒の考えや思いなどについても、会話を通して、把握するようにした。

③ 教師の支援姿勢

ア. 肯定的な態度

一人一人の学びのプロセスを大切にしながら、授業づくりを行うために、肯定的な態度で支援に臨むことの重要性を改めて教師間で確認した。そして支援に臨むうえで、大切にしたい肯定的な態度についても再度確認を行った。

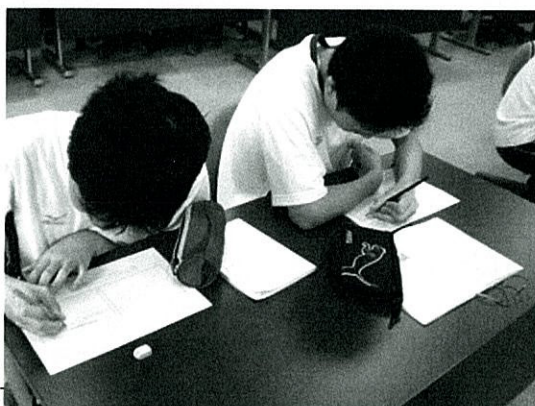
- ・目の前の生徒の姿を一旦ありのままに受け止めること
- ・内面の読み取りを固定化せず、変化を柔軟に受け止め、生徒の育ちを多面的に捉えていくこと
- ・教師自身がまず考え、協議を行い、一人一人の学びのプロセスが異なることを実感すること
- ・生徒一人一人に関する小さなエピソードを大切にすること
- ・生徒の得意な方法を活かした支援を行うこと（ことばで話すのが得意な生徒は聴き取りを活用する。書くことが得意な生徒はスケジュール帳を活用する。など）

イ. 見守り

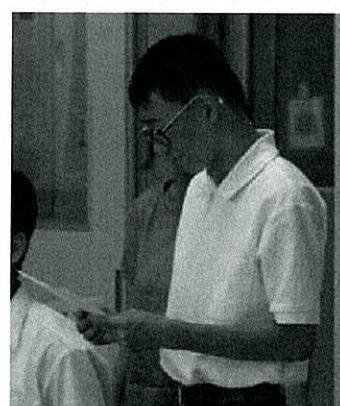
生徒の主体性を尊重し、生徒の言動を観察しながら、生徒がじっくりと考える時間を保障した。

ウ. 複数の教師による読み取り・検討

授業づくりシートや、生徒の記入したスケジュール帳やワークシートをPDF化した資料、授業内外での生徒のエピソードなどの事実をもとに、教師間で情報を共有し、複数の教師で話し合いを行った。話し合いや検討は、主に研究会で行い、必要に応じて放課後や空き時間などを活用することとした。



ワークシートを記入する生徒



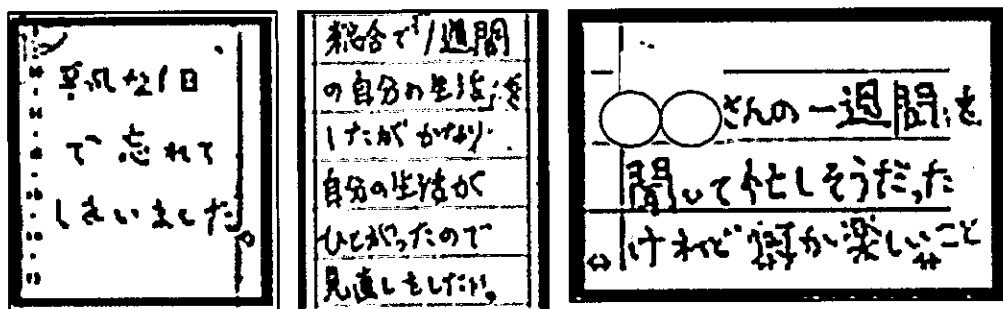
ディスカッションで発言する生徒

(4) 生徒の学びのプロセスに関するエピソード

①他者の過ごし方から刺激を受けたA男

単元の最初に、授業の中で自分の1週間をワークシートに記入した。休日の欄にA男は、「平凡な1日で忘れてしまいました」と書いていた。この授業を行った日のスケジュール帳の欄には、「総合で『1週間の自分の生活』をしたが、かなり自分の生活がひどかったので見直しをしたい」と書いてあった。A男自身が自分の1週間を振り返り、考えることで、今の自分の過ごし方や自分の思い、これからの課題について、気づいたのだらうと推察することができた。

その後、卒業生が来校し、社会人の1週間を在校生に紹介する授業を行った。どの生徒も卒業生の話に興味深く聞いており、「最近、旅行に行ったのはどこですか」「車は持っていますか」などと積極的な質問が多く出た。A男は、集団の授業などで発言することが苦手であるため、質問こそしなかったが、卒業生話を真剣に聞いている様子だった。その日のスケジュール帳の欄には「卒業生の1週間を聞いて、忙しそうだったけれど、何か楽しいことがあれば頑張れると思った」と書いてあった。A男が、卒業生話を聞き、自分の生活に活かすヒントを得たことがうかがえる一文だった。



A男がスケジュール帳に記入した感想

③ 休日の過ごし方が変化していったB子とC子

3年生のB子は、本単元を通して、自分の1週間を振り返ったり、卒業生や教師の1週間の話を聞いたりすることで、休日の過ごし方について関心を深めていった生徒の一人だった。

B子は、休日に友だちと遊んだ経験のある生徒だった。休日にも一緒に遊ぶ友だちは本校の卒業生で、在学中から一緒に出かけたり、遊んだりすることがあったとB子は話していた。自分から誘うことは少なく、誘いに応じて遊びに行くことが多いのだとも話していた。本単元の最初の頃B子は、在校生とはまだ休日に遊んだことはないとも話していた。単元での学習が進んでいく中で、10月の中旬、B子は休日に1年生のC子を誘って出かけたことがあった。C子はこれまでに友だちと休日に遊んだことはないが、休日を友だちと過ごしたいという気持ちを持っている生徒だった。C子は4月の高等部入学時点からB子に対して好意的に接している様子だった。出かける前には、2人とも休日に出かける約束をしたことや、10代に人気の駅前のショッピングモールに出かけることなどを、教師に積極的に話していた。2人で出かけたあとも、2人で写真シール作成機(通称プリクラ)で写真を撮ったことや人気のコーヒーショップへ行ったことなどを笑顔で教師に話した。さらに2人はそれぞれに「また2人で遊びに行きたい」と教師に話していた。

B子がC子を誘って休日に遊びに出かけたきっかけについて本人たちは「遊びに行きたかったから」「楽しそうと思ったから」と説明していた。単元の振り返りを行ったときに、C子は図

Ⅱ－３－１のように回答し、その理由についても記入していた。C子の休日の過ごし方に、友だちと出かけるという選択肢が追加され、それを肯定的に捉えていることが推察できた。一方でB子は図Ⅱ－３－２のように回答し、理由を記入していた。B子の休日の過ごし方には、新しい友だちと出かけるという選択肢が追加され、さらに友だちを増やしたいという展望を持っていることを読み取ることができた。

きゅうじつ す かた か
休日の過ごし方を変えたいと、【**思う**】【**思わない**】

その理由は、今のままでいいから
毎日ラインとスノライフに夢中になるから
ねるのが夜中にやる方が変
たまに友達とみそでもいい。

図Ⅱ－３－１ C子のワークシート

きゅうじつ す かた か
休日の過ごし方を変えたいと、【**思う**】【**思わない**】

その理由は、友達とたくさん作って、お出かけをたくさん
増えたい。(計かして)(LINE)。(LINE電話で)スマホ持っている友達

図Ⅱ－３－２ B子のワークシート

③卒業後の休日の過ごし方について具体的に考えるようになったD男

3年生のD男は単元の当初から、休日が好きだと言っていた生徒だった。友だちと携帯電話などで連絡を取り合い、友だち同士で出かけたり、互いの家を行き来するなどしていた。自分が気を許した相手であれば、相手から誘ってもらうのを待つだけではなく、自分から相手を誘うことができる生徒だった。

休日が好きな理由について、当初からD男は「のんびり自分の好きな事ができるし最高です」「友だちなどと遊ぶことが楽しいからです」と回答していた。その

一人の休日が楽しい理由	誰かと一緒に休日が楽しい理由
	おしゃべりしたいと一気書きに書いて会話
	とかゲームを一気書きに書いて楽しんでいる
	です。

楽しい方に○をつけよう 一人の休日 誰かと一緒に休日

図Ⅱ－３－３ D男のワークシート

後の授業で、“一人の休日”と“誰かと一緒に休日”どちらが楽しいかを考えた際には、図Ⅱ－３－３のように回答していた。授業が進んでいくのと同時に、3年生で卒業後の進路選択を控えていたD男は、現場実習にも出ていた。慣れない場所での慣れない生活に、現場実習を終えて学校へ戻ってきたD男はよく「疲れて土曜日は1日寝てました」などと教師に話すことが多くなった。しかし、「土曜日1日寝たら元気になったから、日曜日は友だちと遊びました」とも話していた。その後も休日の過ごし方について考える授業を重ね、現場実習も重ねたD男が、11月上旬に行った現場実習の終了後、学校に戻ってきてから教師にこんなことを話していた。「休みが2日あったら、1日は友だちと遊びたいけど、もう1日はゆっくり休みたいから、どっちか1日は土日がいいけど、もう1日は平日休みの方がゆっくり休めるかもしれん」と自分から話してきたのだった。それまでは「土日休みがいい」「友だちと一緒に休みがいい」とだけ言ってい

総合の授業で、覚えていることや思ったことなどを書きましょう

今の休日にかいてかかえてなかったの自分のためな りました。今までで1休日に自分のしたい事しかかんがえては なかったけど今こうして見てやっぱり今までとはかきえない
--

図Ⅱ-3-4 D男のワークシート

休日の過ごし方を変えたいと、【思う】【思わない】

その理由は、自分のしたいことがもうみんな出来ているから これいじょういえるし自分がしたいことができなくなるから
--

図Ⅱ-3-5 D男のワークシート

たD男だったが、それは今までで最も具体的な卒業後の休日の過ごし方についての彼の考えだった。

12月に行った単元の振り返りでは、自由記述の欄に図Ⅱ-3-4のように回答していた。他の設問でも図Ⅱ-3-5のような回答があった。自分の休日の過ごし方と向き合い、自分自身で考えて得られた、D男の内面が感じ取られる内容だった。

④ 一人で過ごす休日も大切にしたいE男

単元のはじめに、自分の1週間をスケジュール帳に書きこんで振り返りをした際、土日の欄にE男は「ゲーム以外の自由」と記していた。教師は、「ゲームが大好きなE男は家でゲームの時間が決められていて、それ以外の時間には何をしたらよいかわからないためにこのような過ごし方をしているのではないか」「他の過ごし方を知れば、変化するのではないか」と推察して、新しい休日の過ごし方を示しながら経過を見守ることとした。またE男は中学校が同じだった友だちと遊んだり、家族と出かけたりすることもある生徒だった。

“家にいる休日と出かける休日、どちらが楽しい？”について考えた授業では、図Ⅱ-3-6

楽しい方に○をつけよう	出かける休日	家にいる休日
理由	外にて「たら、いい風景を見れたり、いい思い出ができるからです。 (家族や友達)	

図Ⅱ-3-6 E男のワークシート

一人の休日が楽しい理由	誰かと一緒に休日が楽しい理由
一人だと静かにすごしたり、家でゆっくりできるからです。	一緒に遊ぶと楽しくお話できたりなどできるからです。
楽しい方に○をつけよう	一人の休日 <input checked="" type="radio"/> 誰かと一緒に休日

図Ⅱ-3-7 E男のワークシート

のように述べていた。教師は「E男はやはり、ゲーム以外の自由の時間を積極的に過ごしている訳ではないのだろう」と推察した。次に

“一人の休日と誰かと一緒に休日どちらが楽しい？”について考える授業を行った。この授業でE男は図Ⅱ-3-7のように回答し、その理由を述べていた。どちらの理由もはっきりと書かれていて、純粋にどちらも楽しいと感じているE男の心情が推察できた。さらに単元の振り返りでは、図3-8のように回答していた。

「自分だけの過ごし」と彼が表現した過ごし方の中には、「ふとんで遊び」という回答があった。休日の過ごし方について繰り返し考え、様々な休日の過ごし方を知った今もE男がこの項目を選んで過ごしているという事実を受け止めると、彼は「ふとんでの

休日の過ごし方を変えたいと、【思う】【思わない】

その理由は、自分だけの過ごしをしたいから。 妖怪ウォッチ、ニゴロズ、音楽、ダンス、好きなゲーム、ふとんで遊ぶ、パズル、アニメ

図Ⅱ-3-8 E男のワークシート

遊び」という回答があった。休日の過ごし方について繰り返し考え、様々な休日の過ごし方を知った今もE男がこの項目を選んで過ごしているという事実を受け止めると、彼は「ふとんでの

遊び」を大切な休日の「自分だけの過ごし」であると自覚し、選択的に行っていることが伺えた。単元の振り返りワークシートには初め、図Ⅱ－3－8のように「自分だけの過ごしをしたいから」とだけ書いてあった。教師が「自分だけの過ごしって何？」とE男にたずねると、E男は「自分だけの大切な過ごしがあるんだけど、それを教えてあげる」と得意気な様子でその内容について、ワークシートに追記し、自分から説明をした。その言動からも、E男は休日を主体的に考え、「自分なりの過ごし」を大切にしていることが推察できた。

⑤ 初めて☆5をつけたF男

9月上旬から、自分の1週間を☆5つで自己評価する取り組みを継続してきた。2年生のF男は、毎週の自己評価を☆3とつけ続けていた。自己評価の方法や基準がわからないためかもしれないと推察し、9月中旬に、☆5つによる自己評価についての確認をいくつか行うことにした。☆の数をいくつにするかは自分なりの理由や基準を持ってつけることや、星の数が少ないとつまらなかったり、嫌だったり、辛かったりしたことを表し、☆の数が多いと楽しかったり、幸せだったり、うれしかったりすることを表すことなどを確認した。しかし変化は現れず、F男はその後毎週☆3の自己評価をつけ続けていた。教師は「F男は自分なりの自己評価の基準を持つことが難しく、自己評価をすること自体が難しいのではないか」「生活に変化がない訳ではないのに、自己評価が変化しないのはなぜだろう」などと様々な推察をし、アプローチを続けた。毎週提出されるスケジュール帳をF男と一緒に見ながら「F男さんが☆5をつけるのはどんな1週間だろうね」などと問いかけることを繰り返した。

12月に入り、F男が初めて☆5の自己評価をつけてきた週があった。その週のスケジュール帳が図Ⅱ－3－9だった。理由についてもスケジュール帳に記されていた。☆5をつけた自分なりの基準についてF男は、「今週は楽しいことが3つもあって、悪いことが1つもなかったから」「いつも遊ぶ友だちではなくて、学校の友だちと行ったのが楽しかった」と、初めてはっきりと話したのだった。一見、変化のないように見えていた間も、F男は自分の1週間の過ごし方を振り返り、自分なりの基準で自己評価することを繰り返していたのだ。

12月 December 日付					12月 日付		12月 日付	
4 Monday	5 Tuesday	6 Wednesday	7 Thursday	8 Friday	9 Saturday	10 Sunday	11 Monday	
<div><div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div><div>12月 日付</div></div></div>								

(5) 評価と課題（本単元を振り返って）

ア．単元を通して増えた、休日についての対話

年度当初、(1)-①でも述べたように、生徒が自分から休日の過ごし方について話すことは少なく、スケジュール帳も休日欄は空欄が多かった。教師から生徒へ問いかける機会も多いとは言えず、たまの機会に「休日は何してたの？」と教師が問いかけても、生徒は「ヒマ」「することないし寝てた」などと返答すること多かった。

本単元の計画段階や単元を進める中で、授業の振り返りや今後の計画について、教師間で繰り返し話し合いを行った。その中で教師が気づいたのは、自分たちが生徒の休日の過ごし方について“自分たちが思っていたより知らないことが多い”ということだった。そして授業を重ね、教師間での話し合いを重ねる度に生徒について知りたいことが沢山出された。生徒は休日に何をし、どこで、誰と過ごしているのか、どのように過ごしたいと願っているのか。一つ一つについて話し合ううちに、生徒の休日の過ごし方に対する関心も高まっていった。

生徒が休日をどのように過ごしているのか。休日をどのように過ごしたいと願っているのか。本単元の授業中はもちろんのこと、日常生活の中でも生徒一人一人との対話を繰り返すようになった。授業外での対話では、何気ない対話だからこそ生徒の本音がこぼれた。そしてその本音こそが次の授業づくりのヒントになることにも教師は改めて気づかされていった。単元が進むうちに、生徒からも休日について自分から話をしたり、スケジュール帳の休日欄への記入が増えたりするようになった。

イ．主体的に考え、自分らしい休日の過ごし方に少しずつせまっていった生徒

休日についての対話が増えたり、スケジュール帳への記入が増えたりした生徒は、自分自身の休日の過ごし方を見つめ、向き合うこととなった。生徒の中にはD男やF男以外にも「こんなこと考えたこともなかった」と授業中につぶやいたり、単元の振り返りワークシートに記入したりした者もいた。休日というのは生徒にとって、誰もが経験したことのあつても身近なものだが、自分にとっての意味付けや理由(価値)付けをする機会、これまでにあまりなかったのだろうと推察できた。また、休日というのは自由であるがゆえに、構成する要素が多く存在し、また複雑に絡み合っていることが多い。そのため、何から考えたらよいのか、何をどのように考えたらよいのかについて、大人でも迷ってしまう程である。そこで、「休日はなにしてる」「休日って楽しい?」「自分の1週間は☆いくつ?」「〇〇の休日と△△の休日、どちらが楽しい?」など、一つ一つ生徒が自分の休日について振り返ったり、考えたりする機会を本単元では繰り返し設けた。また、できるかできないかについて考える授業では、できると考えることがよい、できないことが悪いと考える傾向があつたが、それも授業を重ねることで変化していった。正解を求めるという考え方ではなく、自分なりの意味付け理由づけを大切にしながら、自分はどうしたいのかについて考えることができるようになっていった。今を見つめ、自分はしたいのか、したくないのか、自分にとって意味があるのかを大切に、自分の納得のいく過ごし方を考える言動が増えてきた。

単元の最初、生徒の願いを「楽しい休日を過ごしたい」と教師は捉えていた。しかし、単元が終わる頃には、それに加えてD男やE男のように「楽しいとは少し違うが自分のペースで過ごす休日も大事にしたい」「疲れているときには、ゆっくり休む日がほしい」という願いを明確に示す生徒も出てきた。これまで何気なく過ごしていた休日や、その休日の中で感じていたことを振り返り、自覚することで、生徒自身が、自分なりの意味付け、価値づけをするようになった結果であると捉えている。☆5つによる自己評価についても、当初は毎週同じ☆の数をつけてきた

り、その理由を言えなかったり、書くことができなかったりしていた。しかし現在では、F男のようにそれぞれに自分の基準を持って自己評価をし、理由を持つ生徒が増えてきている。

教師が予想した期間よりもはるかに長い月日を要したが、授業を進める中で少しずつ生徒は自分らしい休日の過ごし方を主体的に考えるようになっていった。高校生であるがゆえの様々な制約があることも含めて、自分にとって充実した休日の過ごし方とは何か、休日とはどのように過ごす日なのかについて自分なりの理由を考え、表現できるようになっていった。授業の度に、生徒自身が繰り返し振り返ったり、考えたり、その考えを表現したりしていくうちに、他者の意見にも動じない、自分なりの理由や意見を主張する生徒が増えていった。

ウ. 一人一人の生徒の学びのプロセスへの理解が深まった教師

休日の過ごし方と一言と言っても、その過ごし方は十人十色である。先にも述べたように、単元を始める前に、まず生徒の休日の過ごし方について教師がどのくらいの理解を持っているかについて話し合った。そして理解を深めるために、生徒との対話の機会を増やすなど、あの手この手で実態を探っていった。教師間で授業を振り返り、話し合う中で、生徒の内面を推察し、次の授業の案を練った。生徒との普段の対話や、生徒が書いたスケジュール帳などからも授業づくりのヒントを探った。授業づくりを重ねる中で、授業づくりのヒントは増え、「〇〇さんならこう考えるのではないか」「▲▲さんはこんな姿を見せてくれるのではないか」など、授業での生徒の言動を豊かに予想することができるようになっていった。授業の展開や発問、ワークシートなどの教材、生徒と確認しておきたい知識やルールなどもより生徒の実態に合ったものへと変化させることができたと感じている。もちろん教師が予想した姿とは異なる姿を生徒が示すこともあったが、その姿を受け止め、新たな予想をすることでさらに授業づくりを充実させることができた。

エ. 教師の想定よりも、スモールステップで進んだ学習

繰り返し述べてきたが、休日の過ごし方や休日に対して感じていること、休日にしたいと思っていることなどは、生徒一人一人で本当に異なったものだった。授業を重ねる度に見えてくる姿は、教師が想定していた姿よりも、スモールステップでの学習を必要としている生徒の姿だった。正解、不正解があると考える生徒、自分らしさという正解のないテーマに戸惑う様子の生徒、自分の考えや感じていることを表現するのが難しい生徒などである。このような生徒が直面している一つ一つの課題について、解決に向けてのアプローチを繰り返した。そしてまずは、自分の休日の過ごし方について振り返り、自分と向き合い、気づき、考え、表現することが繰り返しできるよう、授業づくりを行うこととした。当初の単元計画とは大幅に変更することとなったが、生徒の実態に寄り添った単元や授業を展開することができたと感じている。

オ. 自分自身と向き合う学習であるがゆえの難しさ

授業を重ねる中で、生徒たちが自分自身と向き合うことに時間を必要としている姿が見えてきた。前述にもあったが、教師が想定していたよりも、生徒の変容はゆるやかに進んでいった。生徒一人一人が、自分自身の生活を見つめ、考え、真剣に向き合おうとした結果なのだと教師は肯定的に捉えている。本単元で学習する生徒の姿から、内面が変容し、その変容を自覚し、受け止めることは、生徒にとってかなりのエネルギーを要する行為であることを教師は学んだ。

参考文献

- 1) 平成 25～27 年度 本校研究紀要
- 2) 武富博文 松見和樹 (2017)「知的障害におけるアクティブラーニング」東洋館出版社

3. まとめ

最後に今年度の研究の成果と課題について振り返る。

「2. 実践の（5）評価と課題」でも述べたように、今年度の実践を通して、生徒たちが“余暇を過ごすこと”についての気づき、考え、意味づけ、理由（価値）づけすることを繰り返す中で、生徒が自分の知識や認識をより現実在即して新たにしていける姿を見ることができた。「2. 実践の（4）生徒の学びのプロセスに関するエピソード」のように、生徒たちはそれぞれに“余暇を過ごすこと”について考える姿が見られた。中でも「③卒業後の休日の過ごし方について具体的に考えるようになったD男のエピソード」が象徴的であった。このような生徒の姿からその実態は様々で、少しずつではあるが本校高等部の目指す姿に迫ることができているのではないかと私たち教師は捉えている。

今年度までの4年間を通して“余暇を過ごすこと”や“働くこと”について、生徒自身が真摯に向き合い、少しずつではあるが自分らしい生き方について考えようとする生徒の姿を見ることができた。このような経験を積み重ねていくことはこれからも、生徒自身が自分らしい生き方について自ら考え、主体的に取り組もうとすることの一助となると教師たちは捉えている。“余暇を過ごすこと”や“働くこと”以外にも、生徒たちの生活において考えるべきテーマは多種多様に存在している。そのようなテーマ一つ一つに生徒自身が向き合いながら、自分らしい生き方を模索していこうとする生徒の姿を願いながら、今後も生徒たちの学びを支えていきたい。

また今年度は、総合的な学習の時間を通して、複数人による対話としてディスカッションを行った。授業の中で「こんなこと考えたこともなかった」とつぶやいた生徒がいた。他の生徒についてもディスカッションを始めた当初は、自分の意見を表現することを拒否したり、なかなか表現したりすることが難しい様子が見られた。しかし徐々に、自分の意見をワークシートに記入し、ディスカッションの中で発表することができるようになったり、他者の意見を聞くことで、自分の意見をワークシートに記入したり、手を挙げて発表したりすることができる生徒が増えていった。その過程は様々であったが、自分なりに意味づけ、理由（価値）づけをするようになっていった生徒の姿を見ることができた。他者の意見を真似することから考え始めた生徒の姿、他者の意見から考え方のヒントを得た生徒の姿、自分の考えを受容的に受け止めてもらうことで、自分を受け止め、向き合うようになっていった生徒の姿などである。このような生徒たちの姿は、今後の取り組みにおいても、より活発に自分の意見を表現したり、他者の意見を聞いたりすることが生徒たちにとって大切な経験になることを示しているのだと私たち教師は捉えている。本校高等部のディスカッションの様子はまだ充分とはいえないが、生徒が互いの意見を受容的に受け止めながら、さらに活発に意見を伝え合うことを通して、さらに本校高等部の目指す姿に迫っていくことができるのではないかと考えている。さらに今年度は1対1での対話の必要性や有効性についても改めて確認した。1対1の対話のメリットの一つは、対話を深めることができることである。ディスカッションの中では、深めることが難しかった部分については、授業外での1対1の対話を通してその機会を保障した。「2. 実践の（3）内面の読み取りについて」にもあるように、今年度はスケジュール帳やワークシートを活用したり、日常生活で何気ない会話したりすることを通して、1対1の対話を深めていった。ディスカッションだけでは掘むことが難しかった生徒一人一人の学びのプロセスについて教師が知り、教師間での共通理解を充分に行うことで、より生徒の実態に合った授業づくりに取り組むことができることを確認した。今後も生徒の学びのプロセスを大切にして、授業づくりについて模索していきたい。